

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学生殖医療センターでは、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026 年 9 月

福島県立医科大学生殖医療センター 高橋 俊文

■ 研究課題名

生殖補助医療における妊娠判定日の血中 hCG 値と妊娠転帰予測についての後方視的研究

■ 研究期間

2026 年 9 月 ～ 2027 年 9 月

■ 研究の目的・意義

生殖補助医療（Assisted Reproductive Technology, ART）の普及に伴い、胚移植後の妊娠判定日に測定される血中 hCG 値は妊娠成立の判定だけでなく、その後の妊娠経過を予測する指標として注目されていますが、まだその測定時期や適切なカットオフ値については定まった方針がありません。

本研究においては胚移植後に妊娠判定のために血中 hCG 値を測定した方を対象に、妊娠判定時の血中 hCG 値とその後の妊娠転帰との関連を検討し、生児獲得および、胎嚢確認、流産などその後の結果を予測する血中 hCG 値のカットオフ値を検討することを目的としています。

妊娠判定日に測定した血中 hCG 値と妊娠転帰との関連を明らかにすることで、妊娠判定時の血中 hCG 値を用いた予後予測が可能となれば、妊娠初期の経過に不安を抱える方に対して、「当院における hCG 値のカットオフ値」や「その値を超えた症例における生児獲得率」などの客観的なデータに基づいた説明が可能となります。これによって患者さんの不安軽減につながるのではないかと考えられます。さらに、本研究で得られた知見を用いることで ART 後の妊娠管理や患者さんへの説明の質の向上に寄与すると考えられます。

■ 研究対象となる方

2025 年 10 月～2026 年 03 月までの間に福島県立医科大学において生殖補助医療による不妊治療を受けた患者のうち、凍結融解胚移植を行った患者さんで、18 歳以上の成人が対象です。

■ 研究の方法

対象となる方のカルテ上の診療情報から年齢、BMI、これまでの妊娠出産歴、既往歴、不妊治療の内容、妊娠判定時の血中 hCG 値、その後の結果などの項目についてデータを収集します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026 年 10 月 1 日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学生殖医療センターであり、研究責任者は生殖医療センター 高橋俊文です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 鈴木弘行であり、それらの情報は福島県立医科大学生殖医療センターで利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

収集した情報に関しては他の機関へ提供することはありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地

公立大学法人福島県立医科大学生殖医療センター 担当：大越千弘

電話：024-547-1451

e-mail：chihiro.oko@gmail.com